



産後ケア利用プロセスの TEA 分析による インクルーシブケアとケア提供システムの開発

キーワード

産後ケア, 産後ケア提供システム, ペリネ（骨盤底筋群）ケア, 助産・医療思想史

研究内容

人口減少に転じた現代社会において、出産や子育てに取り組む女性や家族がより良い生活を送る上で、産前・産後ケア事業は必要不可欠です。

私および研究メンバーである健康科学部看護学科、母性・助産学領域の教員は、本学の付置施設である産後ケアサロンでの実践を通して、ケアを必要とする人が必要な時に利用できるユニバーサルな事業であることが重要だと実感し研究を行っています。

利用者のケアニーズを明らかにし、より良い出産・子育て環境を確保すべく、産後ケア利用者の利用プロセスを TEA（複線経路等至性アプローチ）用いて質的分析し、産後ケア利用ニーズおよび利用に関わる様々な要因の抽出に取り組んでいます。

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・『活動報告—大学法人が開設した助産所におけるデイサービス型産後ケア事業』第79回日本助産師学会学術集会、(口頭発表、一般) 2023.5
- ・産後ケア（通所型）事業受託
- ・令和3年度～入間市
- ・令和4年度～三芳町
- ・令和5年度～所沢市
- ・令和6年度～狭山市、飯能市、日高市

社会連携・産学連携の可能性

- ・地域における産後ケア事業のケアニーズの分析、ケア提供システムの最適化に向けての提案
- ・助産師による産前から産後を通した伴走型サポートシステムの構築